

## 令和3年度 地産地消等優良活動表彰 受賞者リスト

○応募総数 93 件（生産部門 22 件、食品産業部門 43 件、教育関係部門 28 件）

うち受賞は 7 件（昨年度は、応募総数 88 件うち受賞は 8 件）

○受賞した 7 件の内訳

農林水産大臣賞 2 件、文部科学大臣賞 1 件、大臣官房長賞 3 件、全国地産地消推進協議会会長賞 1 件

		受賞者	取組の概要
農 林 水 産 大 臣 賞	生 産 部 門	<p style="text-align: center;"><small>さばえ</small> <b>鯖江市伝統野菜等栽培研究会</b> <small>さばえ</small> (福井県 鯖江市)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2009 年に地元の農家有志で結成。</li> <li>・ <u>絶滅の危機に瀕していた、鯖江市の伝統野菜「吉川ナス」の栽培技術向上と伝承を図るため、県・市・JAの協力の下、年間約4万個収穫できるまでに復活。</u></li> <li>・ 吉川ナスは、学校給食に供給(1万食/年)するほか、これを使った<u>吉川ナスバーガー及びはまなみそ等の加工品を地元の道の駅等と連携して製造・販売。</u></li> <li>・ 知的財産の保護を図るため、2016年に地理的表示<small>ジーアイ</small>(GI)として登録済。</li> </ul>
	食 品 産 業 部 門	<p style="text-align: center;"><small>いずぬま</small> <b>農業生産法人(有)伊豆沼農産</b> <small>とめ</small> (宮城県 登米市)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1998年に創業し、翌年に法人化。</li> <li>・ 100戸以上の地元契約農家で構成される「伊豆沼農産直売会」や、地元の養豚家で構成される「伊達の<small>あかぶた</small>赤豚会」等と連携して生産した農畜産物(米、野菜、果実、精肉等)や加工品(惣菜、ハム等)を直営の直売所やレストランで販売。</li> <li>・ 地産地消の理解増進を目的に、農業体験、食育体験、地域散策で歴史を学ぶ企画、出前授業でのウイナーづくり体験など、地場産農産物を使ったPR活動を実施。</li> </ul>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">文部科学大臣賞</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">教育関係部門</p>	<p style="text-align: center;">い え そんりつ い え <b>伊江 村立 伊江 中学校</b> (沖縄県 国頭郡 伊江 村)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学のため15歳で「島立ち」する子供たちに、故郷の食味と島への愛着を根付かせるため、村をあげて地産地消の取組を実施。</li> <li>・中学3年生を対象とした魚料理教室の開催、伊江島牛や地元の黒砂糖の給食提供、地産地消の弁当作りなどを実施。</li> </ul>
		<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">大臣官房長賞</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">生産部門</p>
<p style="text-align: center;"><b>スターフーズ (株)</b> (大分県宇佐市)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇佐パン粉有限会社の販売部門の関連会社として1978年に設立。</li> <li>・①地元農家や大分大学等と連携し8年かけて確立したパン用小麦品種ミナミノカオリ(農研機構が西日本向けに開発)の生産技術、②全量契約取引の実施、③独自の作付け奨励金制度により、市内の作付け規模が大幅に拡大(10年で12倍。20ha→240ha)。</li> <li>・「南の大地」ブランドを立ち上げ、無添加パン粉や冷凍ピザ等の加工品にして、県外含め50社と取引中。</li> <li>・学校給食には毎月1回、アレルギー対応のパンを納入。</li> </ul>		

	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">教育関係部門</p>	<p style="text-align: center;"><b>群馬県立<sup>せ た</sup>勢多農林高等学校</b> (群馬県前橋市)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元農家と連携し、田植え・収穫・販売の一連の農業体験を授業で実施。2018年以降農業クラブ活動として、生徒が主体的に草刈りなどの管理作業を実施。</li> <li>・収穫したコメは、<u>同市内の児童遊園地「るなばあく」</u>で販売するおむすびに使用するほか、<u>高校の文化祭と農業まつりで販売するおにぎりやカレーライス</u>に使用。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">全国地産地消推進協議会会長賞</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">食品産業部門</p>	<p style="text-align: center;"><b>稲作本店</b> (栃木県那須郡那須町)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培を担う株FARM1739、及び加工・販売を担うTINTS株の2社（両社の代表は同一）が、共同で立ち上げたブランド「<u>稲作本店</u>」により、<u>オリジナル商品（自家とう精した農家直送米、米粉、米菓、甘酒等）の開発・製造を行い、ECサイト、地元ホテル及び観光施設等で販売。</u></li> <li>・「食」と「農」を近付けるため、SNSやクラウドファンディングを活用した稲作のほか、「<u>田んぼでカフェ</u>」や「<u>田んぼでCAMP</u>」の開催、近隣ホテル等と連携した農業体験プログラムの企画運営、地元小学生の職業体験受け入れや出前授業を実施。</li> </ul>